

◇出演者◇

田谷カ三	天野喜久代、 ★八重吉	戸山英二郎 (藤原義江)	団長、 堀田金星、★熊公	安藤文子、★おてく	小林愛雄、杉寛、 ★木佐野
杉潤一郎 テノール	二宮望実 ソプラノ	安保克則 テノール	上田誠司 バリトン	佐藤智恵 ソプラノ	李昇哲 バリトン
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。これまで主に宗教曲のリストを中心にレパートリーを広げてきたが、オペラ歌手への情熱が捨てきれず、2010～2014 イタリアミラノへ単身留学、ベルカント発声、オペラの根幹を研究。帰国後もその研究と演劇に日々を費やし、これからオペラ歌手としての道に意欲を燃やす。	東京女学館高等学校、桐朋学園大学音楽学部声楽科、同研究科卒業。イタリアに5年半留学。パルマ国立音楽院卒業。第13回ブルクハルト国際音楽コンクール声楽部門第1位。2013年CDをリリース。海外で数々のオペラに出演。シチリア島でのリサイタルはラジオ中継される。オフサイトサイト： http://nozomininonjya.com/	山形大学教育学部総合教育課程音楽文化コース卒業。東京芸術大学修士課程声楽独唱科修了。第80回日本音楽コンクール声楽部門第3位。オペラ、オペレッタ作品では「椿姫」アルフレード役、「こもり」アルフレード役、「ラ・ボエーム」ロドルフ役、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トリッド役等に出演。	武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。2012年藤原歌劇団「フィガロの結婚」フィガロ役でデビュー。2013年渡伊、夏ロッシーニフェスティバルアカデミアに参加し「フランスの旗」ドン・アルヴァーロ役を演じる。その他、「シン・ジョブアンニ」レオナルド役、「椿姫」ジュゼッペ、「ラ・ボエーム」マルチェロ、シヨナル役を演じる。藤原歌劇団団員。	(株)ムジカ・チェレスタ代表。東京音楽大学卒業。「ルクセンブルク伯爵」ジュリエッタ役、「伯爵令嬢マリツァ」リーザ役等に出演。カーネギーホールにソロデビュー。歌い踊り演技に企画・プロデュースもできる稀有な存在。エンターテインメント・クラシックの常設劇場設立を目指す。	国立音楽大学声楽科卒業及びオペラ・ソリストコース修了。第81回読売新人演奏会に出演。プレーシヤ国立音楽院(伊)にて声楽マスタークラス修了。デビュー取得。このマスタークラスでシチリア・コムナール王立歌劇場「ラ・ボエーム」シヨナル役に抜擢されオペラデビュー。
登志子 木村時子、★おかん	ローシー、口上	田谷鏡太郎	竹内平吉	ヴァイオリン	電子ピアノ
栗田真帆 メゾソプラノ	中村憲司 俳優	鳴坂仁志 友情出演	小針侑起 浅草オペラ研究者	横山久梨子 ヴァイオリン	内海清佳 電子ピアノ
台東区出身。東京藝術大学声楽科卒業。聖徳大学大学院音楽文化研究科博士前期課程修了。同大学院研究生修了。昨年、皇居内桃華楽堂でおこなわれた皇宮音楽祭創設50周年記念演奏会では、両陛下ならびに皇族方御臨席のもと歌唱を披露。第3回下町たいとう観音大使。聖徳大学音楽学部講師。葛飾区民合唱団バイストレーナー。	指揮者トロンボーン奏者。2000年、国民体育大会開会式音楽の作・編曲への参加。クラフトトロンボーン奏者として数々のCDに共演。坂本龍一氏とのセッション演奏など。2014年Quadruphon Chamber Wind Orchestraを設立。2015年からは、「山の麓王の宮殿へ」コンサートにシリーズ化。楽しい音楽会をモットーに活躍の幅を増やしている。	東北大学卒業後日本FP、II、日本マイクロソフト等のIT企業の役員を歴任。2010年以降六本木男性合唱団などで国内外の音楽活動を継続し、杉並区民オペラ等でもアイデア、椿姫等のオペラ合唱にも親しんでいる。また、最近MUSIC POOLでのミュージカル活動も開始。落語も千早亭達手井の名前でデビュー。	浅草オペラを中心に「オペラケバからアンゴラまで」を掲げる近代芸術史研究者。1998年初の蓄音機コンサートを開催。その後、執筆活動、講演、トークショー、TV出演、イベントの企画・構成のほか、宝塚歌劇やNHKへの協力も行う。著書に「あゝ浅草オペラ 写真でたどる魅惑のインテリゲンシア」、「浅草オペラ 舞台芸術と娯楽の近代」(共著)がある。	アフリカ、ミネソタ州立大学音楽科を卒業(B.M.)。帰国後は、フリーバイオリニストとして、挙式キャーティでの演奏、スタジオレコーディング、ヴァイオリン講師として活動。同時に、指揮者ロバートライカ率いる弦楽オーケストラ「東京シンフォニア」キースリングカルテット「たわわカルテット」のメンバーとしても活動。	宮城教育大学教育学部中等教育教員養成過程音楽教育専攻卒業。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科博士前期課程音楽専攻修了。2016年、武蔵野音楽大学山台支部主催「むさしの会演奏会」に出演。現在都内を中心としたソロや伴奏ピアニストとして演奏活動をする傍ら、ピアノ講師として勤務している。

浅草オペラ100周年記念事業第2弾

田谷カ三物語

恋はやさし、野辺の花よ

どうぞ声を出して笑ってください☆

日本語による日本人のための浅草オペラが蘇る!

◇スタッフ◇

- プロデュース/佐藤智恵
- 台本・資料協力/清島(佐々)利典
- 音楽監督・アレンジ/榊原徹
- 舞台監督/下條高裕
- 音響・照明・大道具/花やしき
- 幕前解説・2幕スライド画像提供/小針侑起
- 休憩間トークショー/笹山敬輔
- 広報デザイン/林嘉
- 着付け・ヘアアレンジ/サンクリスタル
- 制作/株式会社ムジカ・チェレスタ
- 後援/尾形充宏
- 協力/ぐらもくらぶ、スタジオポリゴンズ

平成29年9月20日(水)

18:30 開場 19:00 開演 @花やしき座

【ご挨拶】

今日は株式会社ムジカ・チェルステ主催「田谷力三物語～恋はやさし、野辺の花よ～」にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。今回の題材に出会ったのは、「カフェーの夜」の作曲家でもあり、浅草オペラの大プロデューサー、佐々紅華さんの義理の甥である清島利典さんを訪ねて、秩父の京亭を訪ねた折でした。ちょうど今年は浅草オペラ 100 周年、私もこの記念すべき年に、エンターテインメント・クラシック®を商標登録している弊社で、何かプロデュースしたい！日本で初めて 100 年前にまるで元祖エンターテインメント・クラシックのような精神のもと、大ブームを引き起こした浅草オペラについて公演することで、その思いを掘り起こし、これからの時代をリードしていきたい！しかし何も知識のない私は、すぎる思いで見知らぬ清島さんに逢いに、トコトコ出掛けていきました。貴重な沢山の資料を見せて頂き、感激に溢れている中、この台本が目にとまりました。ただ当時に流行したオペラや曲を演奏することより、その時代に生き日本にオペラを根付かせていった当時の大歌手の先輩方の汗と苦労と青春、最後まで浅草の地で歌い続けることを決意した田谷力三先生の生き様と精神が描かれているこの作品を感謝と敬意を持って取り扱わせて頂こうと決心しました。どうしてオペラが庶民文化の溢れる浅草で一大ブームになったのか、その後オペラ界はどこへ向かったのか、そこから 100 年経ち、様々な音楽が流行し、オペラが伝統芸能として崇高な難しいものと一般的に感じられている現代で、オペラブームを再び生み出すためには何が必要なのか？という問題への解答の糸口を、皆様と一緒に体感し、今後のオペラ・オペレッタ界の発展に少しでも寄与できる機会となれば、この上なく嬉しいです。

今回の公演にあたり、台本提供いただいた清島利典先生を始め、浅草オペラ研究家の方々の沢山のお力添えを頂きました。そして今も昔も変わらず、オペラは歌手の仲間たちの汗と努力、稽古の上に成り立っています。すべての関係者に心から感謝しています。誠にありがとうございます。幕前、幕間のトークショーや、会場販売されている浅草オペラ関連商品等も併せてお楽しみいただき、当時の雰囲気を感じて頂けると幸いです。

今なお沢山の方々に愛され、研究され続けている浅草オペラと田谷力三先生、その魅力とカリスマ性が皆様のお心に響きますように。 さあ、100 年前のオペラが空前の大ブームだった世界へ出かけましょう！！

株式会社ムジカ・チェルステ代表、ソプラノ歌手、おてく役 佐藤智恵



【劇中演奏曲目】

- リパブリック賛歌（録音）
- 大勝利の歌
- ラグタイム
- ヴェルディ作曲 オペラ「椿姫」より 一幕一場より抜粋
- 佐々紅華作 浅草オペラ「カフェーの夜」より
 - おてくさんの歌、そんな心と知らないで、飲ん兵衛の歌、コロッケの歌
- ビゼー作曲 歌劇「カルメン」より 前奏曲、ハバネラ、闘牛士の歌
- オーペール作曲 オペラ「フラ・ディアボロ」より 岩にもたれて
- ヴェルディ作曲 オペラ「椿姫」より 花から花へ
- ヴェルディ作曲 オペラ「リゴレット」より 女心の歌
- アイヒベルグ作曲 オペレッタ「アルカンタラの医者」より 御寺の壁には
- オッフエンバック作曲 オペレッタ「ジェロルスタン大公妃殿下」より ブン大将の歌
- スッペ作曲 オペレッタ「ボッカチオ」より 序曲、ベアトリ姐ちゃん、嬉しい手紙、恋はやさし野辺の花よ
- ブランケット作曲 オペレッタ「コルネヴィーユの鐘」より 波をけり

【あらすじ】

榊原徹

大正 5 年（1916 年）。十代の少年田谷力三の音楽初体験は三越少年音楽隊の一員として熱中した演奏だった。時代に敏感な姉に誘われ、市民権も流行からもほど遠い時代のオペラを観に向かった先はローヤル館。そこで後に恩師と慕うヴィットリオ・ローシーに出会うと、力三はオペラの魅力に誘われていった。しかし経済的に困窮し続けたローヤル館は間も無く閉館に追い込まれ、後にスター歌手となる清水金太郎、原せいこ、堀田金星、指揮者竹内平吉、そして力三が淡い恋心を秘めていた天野喜久代までもが、流行の喧騒地浅草へと活躍の場を求めて去って行ったのだった。華やかなりし浅草は、オペラという新しい流行舞台で煌びやかな衣裳に身を包んだ歌手たちが、奇声と歓声を一身に受けながら活躍する日々が続いた。その中でも大当たりしたのが、和製ミュージカルとしての呼び声高かった東京歌劇座の「カフェーの夜」。力三は作品を目の当たりにしながら、浅草こそオペラ普及に欠かせぬことを確信し、浅草での活動を決心する。

カルメン、リゴレット、フラ・ディアボロ、ボッカチオ。オペラやオペレッタの名アリアを中心とした舞台は瞬く間に評判となり、毎月十日替わりで新演目を上演。力三もオペラスターの仲間入りをし、通称ペラゴロから熱烈に応援される日々だった。さらに現代舞踏の第一人者となる高田せい子、藤原歌劇団の創始者戸山英二郎（藤原義江）など、昭和の舞台芸術の中心人物となるスターも輩出した浅草は、まさに娯楽オペラの聖地となった日々であった。しかしながら時代の寵児としてのオペラ活動も、大正の目まぐるしい流行りから少しずつ斜陽を迎えはじめる。苦楽を共にした共演者、大志を抱いた仲間たちも、次第に次なる新天地を求めて浅草を離れるなか、力三はオペラの夢を追い、愛される浅草で歌い続ける決心をする。

【公演中につきまして】

公演開始前 18 時 50 分より浅草オペラ研究家の小針侑起さんによる浅草オペラ解説、休憩中 19 時 50 分（予定）より、笹山敬輔さんによるトークショーがございます。浅草オペラについてお話しくださる貴重な機会になりますので、どうぞ客席にてお聴きください。また、入口付近にて浅草オペラ関連商品の販売がございますので、どうぞお立ち寄りくださいませ。

【ムジカ・チェルステ主催 次回公演のご案内】

第 10 回記念本公演 浅草オペラ 100 周年記念事業第 3 弾！
エメリッヒ・カールマン作曲オペレッタ

「Miss シカゴ公爵」

2017 年 11 月 8 日（水）14:00 開演（虹組） 19:00 開演（夢組）
11 月 9 日（木）14:00 開演（夢組） 19:00 開演（虹組）
@渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール

只今チケットのご予約を承っております。本日入口付近にて販売がございます。指定席の良いお席はお早めにお申し込みください。